

校内研修⑧「研究協議」ワークシートまとめ

【柱①：主体的・対話的で深い学びについて】

	【良かった点や成果】	【課題や改善点】
育成を図る資質・能力について	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対してみんなで解決していこうというプロセスで<u>対話的な活動が多かった</u>と思う。 ・リアルな数字を確認し、今、自分たちに必要なものは何かを考えさせることができていた。 ・<u>アンケートをもとに育成を図りたい資質・能力をポイント化</u>して良い。 	
「課題」「見通し」「振り返り」等は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのアンケートをもとにした課題設定は良かった。 ・授業の内容がタイムリーだったので、興味・関心は高かったと思う。 ・具体的な課題（解決策を考える）で考えやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の課題が子どもたちが実感として捉えづらい。 ・<u>現実として高齢化社会になっていく中で、若者の目線だけで進めても良いか。</u> ・若い世代に魅力ある項目を考えることをとおして自分自身の願いに気付かせる。 ・投票率を上げるための策（次時に持ち越し）が見たかった。
「深い学び」になっていたか	<ul style="list-style-type: none"> ・投票する立場と立候補者の立場という<u>多面的な見方で考える</u>ことができていた。 ・自分の考え以外の公約についても、<u>交流して考えを深めていた</u>。 ・自分の考えを形成してから、問題点に気付くまでの流れが良かった。 ・<u>「自分が気になっている課題」と「当選するための公約を考える」活動の間に「年齢別投票率の資料」が提示されたのが効果的だった。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>他の考えを知って感じたことを発言し、考えを深める場面がほしかった。</u> ・若者の願いを反映する民主主義の在り方や意味を考える場面がほしかった。 ・多くの人の意見が一覧できるようになるともっと考えが深まる（機材面での希望）。 ・会話でのやりとりも重要（ICT活用とのバランス）。
ピクトグラムの位置付けはどうか	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に位置付けられていた。 ・授業の中では効果的に活用することができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの効果があるか？（研究授業など見る側にとっては分かりやすいが）。
生徒が学びを実感したものになっていたか	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、交流することで、課題を実感し、理解・解決につなげていた。 ・最後のアンケートから、実感できていることが分かった。 ・<u>日本の若者の問題点と3-4の問題点が一致していたため考えの形成につなげることができた。</u> ・ワークシートが、生徒の考えをまとめやすいものであった。 ・教師から正解を押しつけられる授業ではなく、<u>生徒同士が関わりの中で、データをもとに学ぶことができていた。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>現在の日本（各項目について）がどうなっているのかが分かる</u>と、「<u>こう改善したい</u>」という思いが描きやすくなるのでは？ ・生徒が政治に行きたい理由を考えさせたい（興味がない生徒が多いのに、なぜ？）

【柱②：ICTの効果的な活用について】

	【良かった点や成果】	【課題や改善点】
資料の提示の仕方は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・AppleTVで提示できたことは良い。 ・ワークシートを撮影して、全体で確認できたのは効果的だった（シンプルな形が良かった）。 ・GoogleFormを使い、自分事として回答していた&グラフで見やすいのが良かった。 ・自分の意見や考えを視覚的に皆に伝えることで、他の生徒の思考が高まる効果がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書が見やすかったです（デジタル機器との併用についての課題）。 ・記入したプリントは見えないので（大きなスクリーンが欲しい）。 ・多くの人の意見が一覧できるようになるともっと考えが深まる（機材面での希望）。